***2018‐19橋岡久太郎ガバナー年度地区RLI推進委員会***

***ＲＬＩ推進委員会【活動方針】***

***◎委員会活動計画***

***・ＲＬＩプログラム基本活動（パートⅠ～Ⅲ・卒後コース・ﾌｧｼﾘﾃｰﾀｰ養成講座）***

***・ファシリテーター・ブラッシュアップ研修会の定期的な開催***

***・ＲＬＩ支援体制の確立と組織の固定化促進***

***※ 地区ＲＬＩ推進委員会メンバー***

委 員 長　今野 文明（千葉西） ・ 副委員長　清田 浩義（千葉）

委　　員　山本　衛 （松戸西） ・ 委　　員　山下 清俊（市川東）

委　　員　矢野 理恵（成田）

***（１） ＲＬＩとは***

|  |
| --- |
| ロータリークラブの潜在的なリーダーの為のリーダーシップ開発を実施する**「草の根プログラム」**です。  The **R**otary **L**eadership **I**nstitute の頭文字を並べて**ＲＬＩ**と呼称します。  邦訳はロータリー・リーダーシップ研究会と表記します。ＲＬＩは小グループによるファシリテーション手法を用いた対話を通して、ロータリアンを引き込み、ロータリアン一人一人の自己啓発が指導力の向上と共にクラブを強化する目的で開発されたプログラムです。 |

***（２） ＲＬＩの歴史***

|  |
| --- |
| 1992年、アメリカニュージャージー州の元RI理事リンネット氏の発案で始められた多地区草の根連合組織です。RLIは現在RI公式プログラムではありませんが、2002年にRI理事会で承認された公式の**プログラムとして世界中で開催され、地区を超えて参加することが可能です**。魅力満載のＲＬＩは質の高いリーダーシップ養成の草の根研修として世界中に広がり、現在では世界中で**３６９**地区以上が取り入れ活動されておりますし、我が日本では**２００８**年に始めて導入され、今では**１４**地区が活動し年々広まっています。 |

***（３） 第2790地区のＲＬＩ活動経緯***

|  |
| --- |
| 2010年当初に参加した地区内の先達たちは、全てに自費で東京や埼玉で開催していたＲＬＩに参加していました。**その時に得た昂ぶる感動を是非とも第2790地区内ロータリアンにも広めようと、草の根運動的な忍耐と努力の積み重ねが粛々とあって、今日の地区ＲＬＩ委員会活動に結びつけることができています。**橋岡ガバナー年度では、確実な継続活動ができる環境が整った年度になってきました。 |

***（４） ＲＬＩの目的***

|  |
| --- |
| 各クラブ内で地道な運動として、会員各自がリーダーとしての自覚を強くしようと、学ぶ心を目覚めさせることにあります。更にはクラブの柔軟性と刷新性が大事であることを心得ることから、クラブ活性化に向けてのリーダーシップの重要さも認識できることです。決してロータリー知識や情報を豊かにすることを第一目的にするのでなく、**参加する人との心の交流を深めることから、信頼しあう仲間との豊かな人間性の構築が価値あることと認識し、尊敬しあえるロータリアン同士が学び充足できる研修会になっています。その目的地は、ロータリアンとしての成長とロータリー観の確立であります。** |

***（５） ＲＬＩのプログラム***

|  |
| --- |
| ＲＬＩは基本的な国際統一形式の各パート毎に１日に6セッションを3日の合計18カリキュラムからなっています。**パートⅠ**は**「私たちロータリアンが一人一人が学ぶべき課題」**であり、**パートⅡ**は**「私たちのクラブがより効果的に成長できる課題」**であり、**パートⅢ**は**「より幅広く奥深いロータリーの世界を学ぶ、私のロータリーの旅」**として、セッションテーマが連携し、展開してゆきます。このように各セッションが進む過程から次第に**三つのステップアップ（螺旋的展開）の柱**があります。**一つ目がリーダーシップ Leadership二つ目が奉仕 Service三つ目が会員組織強化Membership**です。セッションに参加する毎に気付けば、自己研鑽のスキルアップができ、様々な興味や情報が得られるようにスパイラルの内容が良く理解できるようにプログラムが組まれています。 |

***（６） ＲＬＩの効果***

|  |
| --- |
| 少人数対話による意見交流が参加した仲間の意識向上と自身の研鑽を深め、ロータリーの素晴らしさに惚れ直すことができます。自主的に参加する者同士がお互いを理解し切磋琢磨するなかでロータリー精神を身に付け成長させてくれます。参加し合った各クラブの方々と忌憚のない意見交流を通して、セッションテーマに基づき、様々な考え方を謙虚になって話し合うことができます。また、同じセッション仲間からは対話の大切さを学び取ることができます。**ＲＬＩ仲間との対話からロータリーの奥深さを知り、人を思いやり尊敬しあう価値を享受しながら、ロータリー精神や情報の勉強の場を構築することができ大変喜ばれています。**殊の外、クラブ全体としてロータリアンの自主性と卓越した指導力を涵養しクラブの刷新性と柔軟性を育み、一層ロータリーが活性化されクラブ強化が図れる効果が派生します。 |

***（７）* *ファシリテーター・ブラッシュアップ研修会の定期的な開催***

|  |
| --- |
| **ＲＬＩの要はスタッフのファシリテーション手法のスキルを磨く、自分磨きの定期的な研修が重要です。**目的は、各セッションのどんな場面でも自信を持ってファシリテーションに臨めるようにスキルを磨くことです。参加者に一方的に教えることではなく、学ぼうとする意欲を手助けすること、すなわち学習を促進する進行役に重用することです。お互いが研修を通して人間性を高め合うことは、セッションごとのテーマのメッセージを伝える人間自身が、そのメッセージと同じくらい重要な役割を務めるスキル向上を目指します。ＲＬＩの成否は常にこの様なファシリテーターのスキルアップから醸成される寛容な心に影響されます。ＲＬＩスキルアップ研鑽の積み重ねは、ＲＬＩの参加者が対話を通して学び取る自己研鑽への意欲の手助けに繋がり、ＲＬＩから得られる喜びや感動からの満足感を享受できる体験を醸成することがより一層高められる効果を促進します。  **私たちは、常に謙虚になり、RLIの魅力を高めて行く研鑽を怠りません｡** |

***（８） ＲＬＩ支援体制の確立と組織の固定化促進***

|  |
| --- |
| **当地区のRLIは９年目を迎えます。**　これまで多くの先達やRLIを受講された多くのロータリアンの深いご理解と暖かいご支援をいただき、地区の環境も整い地区組織内の委員会として育ってきました。さて、ＲＬＩは毎年同じ事業の繰り返しではと単純に思われます。しかし、ＲＬＩ運営の要はマンパワーの支援体制の確立です。**実際にパートごとの開催は、ファシリテーターと本部運営に５0名程のスタッフ確保、教室に個室６部屋と大部屋1部屋の会場予約や諸事準備を要し、同様に、受講者のRLI修了履歴事務処理と情報管理にも労力を費やします。**現状は毎年ＲＬＩ実行委員会組織を設けて支援を戴いていますが、橋岡年度はＲＬＩの支援体制の充実を図り、制度の確立が整うことを願うと共に、多くの経験を知恵に変える工夫が必要な多々課題があります。委員会は一つ一つ課題を解決し、ＲＬＩの充実に取組みます。即ち、支援体制の確立とは実は次世代に運営組織の事業継承が恙無く移行できる礎の充実です。今後のＲＬＩが着実に地区に根ざし継続的な拡大につながります。その礎には、ファシリテーター養成講座を修了された方々の経験を是非、ＲＬＩで生かしてくださる支援をお願いする次第です。 |

***※ 第2790地区ＲＬＩ開催日程***

|  |
| --- |
| **2018-19橋岡ガバナー年度ＲＬＩ開催日程　【参加登録費制度】**  ・第1回FTﾌﾞﾗｯｼｭｱｯﾌﾟ研究会　2018年9月1日（土） 　13時開講　千葉市民会館  ・第2回FTﾌﾞﾗｯｼｭｱｯﾌﾟ研究会　2018年10月13日（土）　13時開講　千葉市民会館  ・第3回FTﾌﾞﾗｯｼｭｱｯﾌﾟ研究会　2018年11月26日（月） 　13時開講　千葉市民会館  ・パートⅠ　2019年2月11日（月・祭日）　　　　10時開講　千葉市民会館  ・パートⅡ　2019年3月30日（土）　　　　 　　　10時開講　千葉市民会館  ・パートⅢ　2019年4月22日（月）　　　　 　　　10時開講　千葉市民会館  ・卒後コース 2019年5月27日（月） 　　　　　　10時開講　千葉市民会館  ・ファシリテーター養成コース 2019年6月8日（土） 　10時開講　千葉市民会館 |